

学校評価報告

令和7年度における「学校評価」の実施内容を以下のとおり報告いたします。

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人亀井学園 小松川めぐみ幼稚園

1 本園の教育目標

本園は、遊び、友達との関わり、専門講師による造形・体操・音楽・英語指導等を通して、創造性豊かで自主自立心が強く実践力があり、明るく健やかな幼児の育成を教育目標としています。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、平常保育や年間行事を通して、幼児一人一人の成長につながる教育を実践するとともに、子どもたちが主体的に関わり協力しあえるよう取り組みます。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 教育目標に基づき教育課程・指導計画を作成し、教職員間で共通理解を深めながら幼児を指導します。また、専門講師による音楽指導や体操指導を通して、創造性・自主自立心・実践力のある幼児を育てます。	3.9	教育目標に基づき教育課程・指導計画を作成することで、具体的な活動をイメージすることになり、事前の十分な周知・準備ができました。また専門講師のアドバイスを受けながら1月に江戸川区総合文化センターにて開催した音楽会は、たくさんの楽器に触れる機会となり、子ども達の好奇心・探求心を深めることが出来ました。
2 地震・津波・火災・不審者に対する教職員・幼児の安全対応能力向上のため防災・防犯訓練を実施します。	4.0	防犯訓練や避難訓練を毎月行うことにより、地震や津波、火災による避難方法の違いを理解し、スムーズに避難できるようになりました。
3 園内・園外研修への参加や課題の解決、教職員同士の話し合いを通じて教職員の資質向上に努めます。	4.1	園内研修や外部の研修に積極的に参加し、特に来年度給食導入に向けて食育やアレルギーについての理解を深めました。また8月に葛西めぐみこども園乳児部にて実習を行いました。終了後は、教職員同士で意見交換し園全体で共有いたしました。
4 保護者との連携・協力により、年間行事や日々の保育を円滑に進行させ、教育内容の充実を図ります。	4.2	保護者の理解や協力を得ながら、円滑に行事を行うことが出来ました。また日常の子ども達の様子は「クラスだより」やSNSを通して配信し、保護者と共有を図りました。
5 特別支援児ごとに指導・支援計画を作成し、関係機関の協力を得ながら特別支援教育内容の充実を図ります。	3.5	江戸川区からの巡回指導を受けることで個別のアドバイスをいただきました。また各機関の療育の先生がお見えになり、お子さまにあった保育での配慮等を学びました。
6 保護者の実情や要望に沿った預かり保育、地域の子育て世代を支援する地域教育事業を実施します。	4.0	預かり保育を希望されるご家庭が年々増加する中で、縦の交流を深められる点を意識し、みんなで楽しむ活動をすることができました。地域にお住いの未就園児対象に保育ひろば『びよびよらんど(年5回)』などを実施することが出来ました。特に6月に実施した「七夕の笹飾りを作ろう!」では、たくさんの参加をいただき初めて見る笹の葉に興味津々の子ども達の様子も伺えました。

評価 (5:十分に達成 4:達成 3:おおむね達成 2:要努力 1:改善を要する)

4 総合的な評価結果

評価	理由
3.9	こども園改修工事に伴い、改修前のお部屋で記念イベントとして『思い出のお部屋をペインティングしよう』を行いました。お部屋の床や壁に自由にお絵描きをし、子ども達も普段できない貴重な体験ができていました。行事も予定通り行うことができ、イベントや体験の多さに保護者の方からとても良い評価をいただくことが出来ました。

5 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
5 特別支援	それぞれの子どものに相応しい言葉がけや援助のしかたを教員どうしで共有し、園の活動に際しては、必要に応じて特別な人員を配置します。
1 教育課程・指導計画	教育目標・教育課程・指導計画をもとに、保育のあり方を考え、来年度からのこども園移行後も、園児ひとりひとりが安心して楽しく過ごせるように教職員同士の共通理解を深めていくよう努力します。

6 学校関係者評価委員会の評価

子ども達自身が考え、選択しながら遊びを進められるようにし、先生方が子どもの「やってみよう」と思えるような環境作りや言葉がけをされておられました。この場をお借りして感謝申し上げます。
また発表の場も多く、舞台上立つ経験ができた本人の自信にも繋がりました。特に大きなホールで舞台上立つ経験は親としても、子どもの成長を感じられる感慨深いものとなりました。
来年度はこども園の初年度となり、更に賑やかになることを期待しております。